

ウエルハーネスだより

204号

理事長からの言葉



上尾市向山1-14-7
社会福祉法人 竹柿会
TEL: 048-782-0575
FAX: 048-782-0590
令和5年5月25日発行

梅雨のような雨が続いています。晴れると30度を超える日もあります。季節が早まっているようです。このままいくと6月の終わりには真夏になるかもしれません。夏の食べ物といえば、ウナギ。最近は価格が高騰しているので、なかなか食べられません。そんな中、埼玉県内でウナギの養殖が始まったというニュースを見ました。

県北の上里町は5月12日、ジャポニカ種ウナギの養殖や加工・販売を行う「平沼水産」（さいたま市浦和区）と包括連携協定を締結しました。同社は、上里町勅使河原に1281坪の事業用地を取得し、50トン水槽6基による養殖エリアで9万尾以上のウナギの養殖を計画しています。水産養殖と水耕栽培を組み合わせた「アクアポニックス」のシステムを構築し、将来的には「水を捨てない、換えない、薬品や肥料を必要としない」仕組みで、完全閉鎖型の陸上養殖の実現を目指すといいます。養殖システムはさいたま市北区の「サイエンス・イノベーション」と業務提携しています。

敷地内には、ウナギの研究を行う施設「うな研ラボ」を立ち上げ、上里町の特産品や昆虫を活用した代替飼料の開発を行うとともに、完全養殖実現に向けた知見収集と研究開発を予定しています。5月下旬から養殖施設の建設に着工し、来夏の「丑の日」から商品として出荷予定だそうです。

この施設が県内初のウナギの陸上養殖施設かと思ったら、実は昨年6月から東松山市で同じような地下水を循環利用する陸上養殖が始まっているそうです。川越を中心に県西部に都市ガスを供給している武州ガスが取り組んでいるそうです。こちらは6万5000尾を育てていて、今年の夏には直営料理店や通販サイトで販売する予定だそうです。ウナギで有名な小江戸川越の地産地消に貢献したいそうです。

また、浜松等で行われている池で養殖する方法は、加須市北川辺の鈴木養魚場でかなり前から行われています。NHKの昼番組でも取り上げられたこともあります。こちらは鯉やモロコの養殖が本業なのですが、かば焼きが半値程度で買えるので、いつもお客さんでにぎわっています。私も時々行きますが、必ず予約してから行かないと、買えない時があります。

その他、久喜市では岩手県の一関高等工業専門学校とタイアップして、「天然温泉 森のせせらぎなごみ」でウニの陸上養殖が始まるようです。上里町のお隣の神川町では「お風呂カフェ白寿の湯」でサバの陸上養殖がおこなわれており、6月15日には初めて出荷されるそうです。

かつては、養殖というと海のいけすや池で行うというイメージでしたが、これからは陸上養殖が盛んになっていくのでしょうか。ヒラメやフグといった高級魚は陸上で養殖されているという話は聞いていました。埼玉県内での養殖はイメージしていませんでした。これからは、東松山や上里がウナギの産地、久喜名物のウニ、神川サバの押し寿司といった時代がくるのかもしれませんが。



4～5月の行事

特養では5月8日より居室での面会が始まりました。ほとんどの方が初めて2階、3階の居室で面会されました。

また、ユニットごとに母の日のお祝いやお誕生日会が開かれました。

デイサービスでは頭の体操やゲーム、運動会も開催されました。また、久々にボランティアさんによるマリンバ演奏会も開かれました。

5～6月の予定

特養ではカーネーションの壁面飾り作り、体操やお茶会が開かれます。また誕生日会も開かれる予定です。

デイサービスでは黒色和風塗り絵や名前ストラップ作り、今が見頃のバラのお花見や6月初旬の花菖蒲ドライブを予定しています。



デイ マリンバ演奏会



端午の節句特別メニュー



特養 頭の体操



向山デイサービス



運動会



特養 お茶会



特養 お誕生日会



特養 母の日お茶会

